手際よくカキを収穫する竹谷秋照（あきてる）さん（三好下）

収穫の秋！みよしの果実

三好町の特産品のカキ・ナシ・ブドウ。今回は、三好の秋の味覚を代表するヘルシーなフルーツ「カキ」を紹介します。

「カキが紅くなれば医者が青くなる」といわれるほど栄養価が高いカキ。特にビタミンCが大変豊富に含まれています。町内では、日ごろから農家の皆さんが愛情込めて栽培しています。

最も出荷の早い品種「西村早生（わせ）」の目ぞろえ会が9月12日、グリーンステーション三好で行われました。目ぞろえ会は、味や大きさなどを確認し、品質基準を決めるもの。今年も三好のカキの出来は上々とのことです。

ほかの地域に較べても、甘み十分の三好のカキを味わいませんか。

果樹を作り続けておよそ30年の竹谷さん。現在、三好町農業委員を務め、町内の農業推進の普及にも力を入れています。「手間を惜しまず、愛情込めて作れば必ず結果が出ます。三好町の果樹栽培は、残留農薬の検査も厳しく、基準を守って作っています。安心して食べられる三好の果樹を楽しんでください」。

みよしのカキ（平成17年度）
栽培面積…59ha
収穫量…399t
主な品種…富有、次郎、西村など

目ぞろえ会で大きさや味など出荷の品質基準を決める

平成17年度決算報告

▼問い合わせ＝財政課　☎(32)8002　FAX(32)2165

三好町の財政の歳入歳出状況を示す平成17年度決算が、平成18年第3回三好町議会定例会で認定されました。決算は皆さんに納めていただいた貴重な税金や国、県からの補助金などが何に使われたかをまとめたものです。

今回は、町政を皆さんに正しく理解していただくため「まちの家計簿」決算の状況をお知らせします。

平成17年度の三好町一般会計と特別会計を合わせた全体の決算額は、歳入341億1、111万円、歳出318億2、111万円。前年度の決算額と比較して、歳入で27億8、016万円(8・9%)、歳出で30億3、321万円(10・5%)の増加となりました。

町では計画的かつ効率的な行財政運営により、平成17年度は実質収支(歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いたもの)で、17億8、352万円の黒字決算となりました。

また町の財政状況を示す各指数は下記のとおりです。ともに良好な数値を示しており、健全な財政構造が保たれているといえます。

町の財政状況を示す指数

■公債費比率

平成17年度比率＝6・5%

地方公共団体の借入金(地方債)は、決められた条件で、毎年度元金および利子の返済が必要です。公債費比率は、この元金と利子の総額(公債費)の一般財源に占める割合。財政の健全性を保つには、10%を超えないことが望ましいとされています。

■経常収支比率

平成17年度比率＝72・3%

歳出のうち、人件費(職員給与や議員報酬など)や公債費など経常的な支出が、町税や地方交付税などの経常的な収入に占める割合。財政の弾力性を表し、比率の数値が低いほど柔軟な対応力があります。80%を超えると弾力性に欠けているとされています。

■財政力指数(単年度)

平成17年度指数＝1・62

地方公共団体の財政力の強弱を示す指数。1・0より多いほど財源にゆとりがあるといえます。なお指数が1・0以上の地方公共団体には、普通交付税が交付されません。

一般会計

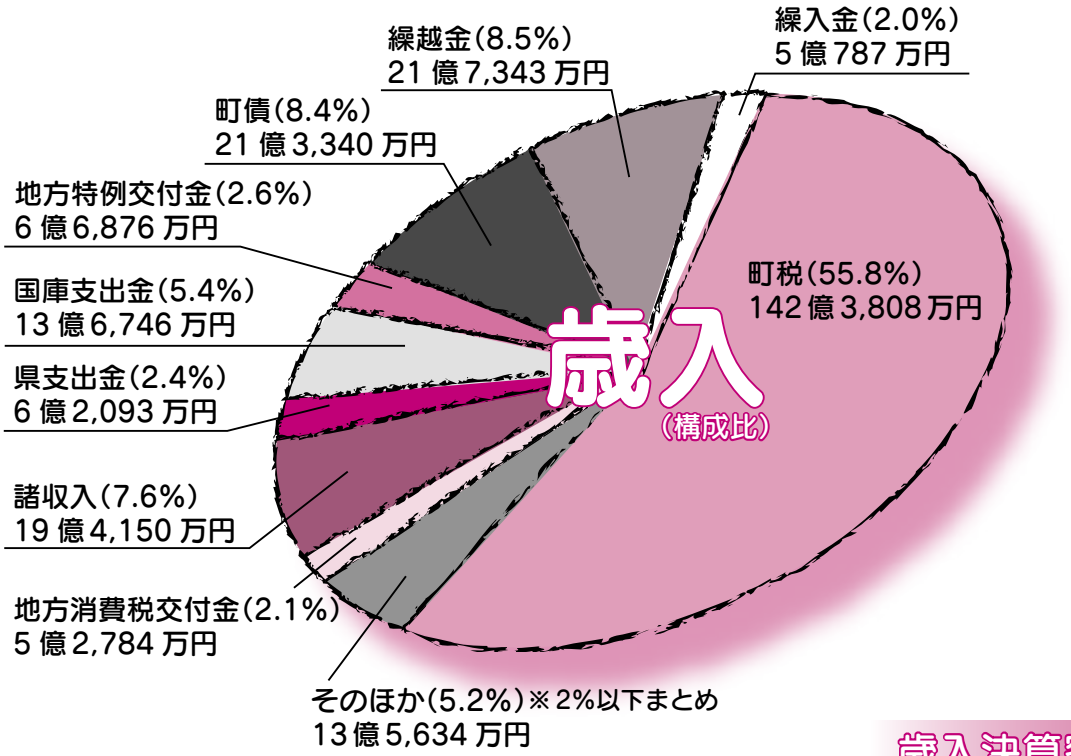
【歳入】

一般会計の歳入決算額は、255億3、561万円でした。前年度と比較すると19億230万円（8・0％）の増加となりました。

主な要因は、自動車関連企業の増収を主とする法人町民税14億6、480万円の増加、愛知用水二期工事事業精算金が生じたことなどによる諸収入14億296万円の増加などが挙げられます。

■町税の決算額内訳

税　目	決算額（万円）	対前年度比（％）
町民税	78億6,108	19.1
個人	34億4,715	6.3
法人	44億1,393	31.5
固定資産税	52億7,278	3.5
軽自動車税	6,375	8.5
町たばこ税	2億7,664	0.7
都市計画税	7億6,383	2.0
合　計	142億3,808	11.5



歳入決算額：255億3,561万円

特別会計

特別会計は、国民健康保険特別会計、下水道事業特別会計、老人保健特別会計、土地取得特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計の6会計です。

6つの特別会計の決算額は、歳入85億7、550万円、歳出80億6、902万円となりました。前年度と比較すると歳入8億7、786万円、歳出7億4、100万円の増加となりました。

■特別会計決算額

単位：万円

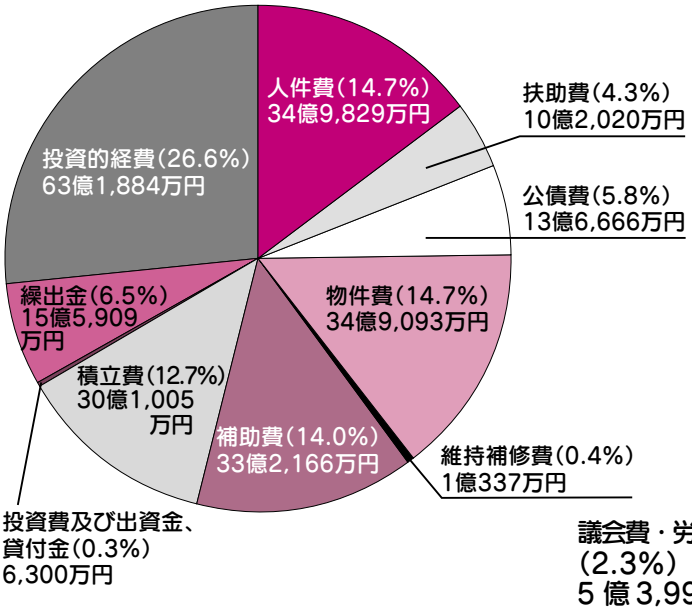
会　計	歳入合計	歳出合計
国民健康保険特別会計	32億9,816	30億4,898
下水道事業特別会計	18億2,222	16億9,933
老人保健特別会計	19億5,489	18億7,246
土地取得特別会計	9,488	9,488
農業集落排水事業特別会計	3億609	2億9,083
介護保険特別会計	10億9,926	10億6,254
保険事業勘定	10億7,233	10億3,875
介護サービス事業勘定	2,693	2,379
合　計	85億7,550	80億6,902

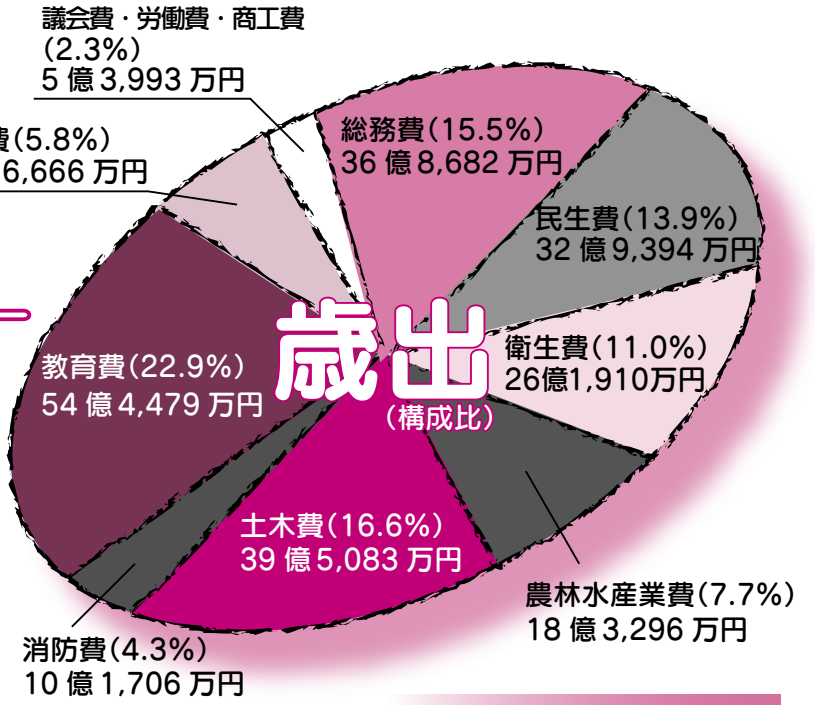
【歳出】

一般会計の歳出決算額は、237億5、209万円でした。前年度と比較すると22億9、221万円（10・7％）の増加となりました。

主な要因は、農業ふるさと振興基金の積立などによる農林水産業費12億6、242万円の増加、北部小学校用地公社買い戻しなどによる教育費8億5、356万円の増加、福谷・新屋住宅統合建替事業などによる土木費4億7、008万円の増加などが挙げられます。

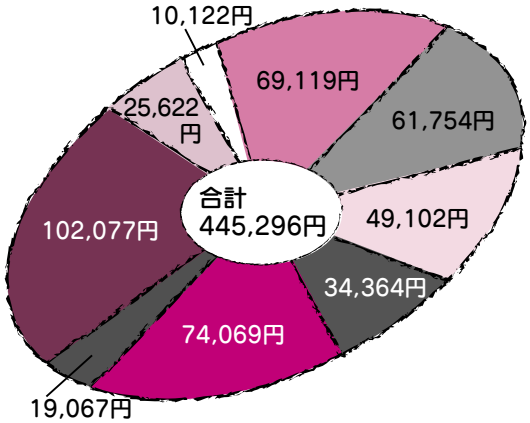
■歳出性質別決算額





■一人当たりに使ったお金

人口54,356人（平成18年4月1日現在）



歳出決算額：237億5,209万円

企業会計（病院事業）

病院事業会計決算額は、事業収益22億7、056万円、事業費用22億4、008万円で、前年度と比較すると事業収益は1億1、384万円、事業費用は8、511万円の増加となりました。

資本的収入および資本的支出については、資本的収入2億622万円、資本的支出3億1、695万円で、前年度と比較すると資本的収入は820万円、資本的支出は1、403万円の増加となりました。

■企業会計　単位：万円

区　分	決算額
事業収益	22億7,056
事業費用	22億4,008
事業収支	3,048

区　分	決算額
資本的収入	2億622
資本的支出	3億1,695
資本的収支	△1億1,073

※資本的収入の資本的支出に対する不足額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てん。

第三次行政改革大綱の取組実績を紹介します

三好町は多様化する行政への需要に対応するため、平成13年3月に「第三次行政改革大綱」を策定。事務事業の見直しや職員のコスト意識を高めて、徹底的な経費節減に取り組み、行政の簡素合理化を進めてきました。この第三次行政改革大綱の取組実績を、今後の行政改革に生かしていきます。

今回は、これまでの5年間の取り組みについて、主な取組や成果を紹介します。

第三次行政改革大綱の実現を通して、行政に対する需要に的確に対応するため、取り組むべき基本方針と具体的な推進項目を掲げました。

行政の責務に応じた効率的な行政運営を町民の皆さんの理解と参加をいただきながら実施し、計画年次である平成13年度から平成17年度までの5年間に、実施計画の61項目に取り組みました。

【取組状況】

61項目の取組実績は表1、取組結果は表2のとおりです。重点推進項目の内、目標達成は59項目で、全体の96・7%でした。

目標未達成の2項目は「行政評価システムにおける外部評価委員の設置」と「PFI的手法（公共施設の管理などを民間主導で行う手法）の活用」でした。

■表1　重点推進項目取組状況　　単位：項目

重点推進項目	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
住民に開かれた町政の推進	4	8	8	8	8
事務事業の見直しおよび行政サービスの向上	25	31	38	38	40
組織・機構の見直し	4	4	5	5	5
定員管理・給与などの見直し	2	2	2	3	3
職員の意識改革の推進	1	1	5	5	5
合　計	36	46	58	59	61

※完了した項目を含みます。

■表2　取組結果　　単位：項目

取組結果	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
目標達成項目数	11	25	34	38	59
目標未達成項目数	25	21	24	21	2
合　計	36	46	58	59	61

【取組成果】

取り組みによる5年間の経費の削減額は、3億7,341万1千円でした。

重点推進項目の内容と経費削減額は、次のとおりです。

住民に開かれた町政の推進
削減額　740万3千円

個人情報の保護や情報管理の適正化を進め、情報の公開・開示を積極的に行うための条件を整備。町民の皆さんが必要とする情報を的確に、分かりやすく提供しました。

主な内容は、文書保存ファイリングシステムの確立や広報広聴活動の充実などです。

事務事業の見直しおよび行政サービスの向上
削減額　2億420万3千円

事業のスクラップ・アンド・ビルド（新設と廃止）を基本として、緊急度の高い事業を優先的に実施。また重要度の低い事業の整理・合理化といったメリハリのある行政運営に取り組みました。

主な内容は、補助金の見直し、経常経費10%の削減、環境率先行動計画の推進、移動図書館巡回場所の見直し、口座振替通知書の廃止、塵芥（じんかい）収集業務の見直し、

園児の増加に伴い保育士を増員

庁内情報の共有化とIT活用、保育園ならびに児童手当関連システムのOA化、住民健康システムの導入です。

補助金の見直しについては、行政として対応するべき必要性や費用対効果について検証。適正な補助率への見直しおよび類似補助金、同一団体などに対する重複補助金および少額補助金の統廃合をしました。

主に廃止した補助金は、みどりの管理協会補助金、文化振興協会補助金、三好・コロンバス友好交流事業補助金、国際レディースカヌー大会実行委員会補助金です。

組織・機構の見直し
削減額　822万9千円

多様なニーズに素早く対応した施策を展開していくため、行政運営の骨格となる組織・機構について見直しを行いました。

主な内容は、重点施策を推進するための最適な組織・機構づくりを進め、市政を含む新しいまちづくりに関する調査・研究を行うために、企画部に市制準備室を設置。また茚生地区多機能用地開発事業のより一層の推進を図るために、環境経済部に開発推進室開発課を設置しました。

さらに外郭団体への職員の派遣削減などを行いました。

定員管理・給与などの見直し
削減額　1億1、448万3千円

職員の適正な定員管理をより一層進めるために、事務事業や組織・機構の見直し、情報化による事務処理の効率化、迅速化などを実施しました。主な内容は、職員の定員の抑制や給与などの見直しです。

定員の見直しについては、職員の定員管理計画に基づき、職員数の抑制に努めました。しかし、5年間で職員数は39人増加。その要因としては、町民病院の医療体制の強化や看護体制を見直し、パート看護師の常勤化によって21人増加、また保育園児が増えたことにより、保育士を9人増加しました。

給与などの見直しについては、人事院勧告の改定の動きに注視し、支給目的や社会情勢の変化などを踏まえ、削減を行いました。

職員の意識改革の推進
削減額　126万3千円

時代の変化に素早く対応できる人材育成を総合的かつ計画的に進めるため、職員の能力が十分に発揮できるような人事・任用制度を実施。また研修計画などの見直しを行いました。主な内容は、職員研修の見直しの充実や職員提案制度などです。

職員提案制度については、積極的な改善および創意工夫を奨励し、職員の勤労意欲の向上と事務改善の推進に取り組みました。その結果、5年間で2、265件の事務改善についての提案がありました。

●取組実績についての詳しい内容をご覧になれます

・みよし情報プラザ（役場西館1階）
・サンネット
・三好町ホームページ…
http://www.town.miyoshi.aichi.jp

▼問い合わせ＝財政課
☎(32)8002　FAX(32)2165
電子メール…
✉zaisei@town.aichi-miyoshi.lg.jp